

編集後記

巻頭論文で紹介されているとおり、平成 25 年 10 月より、それまでのアドミッションセンターと大学教育機能開発センターが統合され、大学教育イノベーションセンターとなりました。また、新設部門として教学 IR 部門がスタートしました。本ジャーナルのタイトルも、新しく「大学教育イノベーションセンター紀要」となりましたが、これまでの大学教育機能開発センター紀要を発展的に引き継ぐものとして、号数は続き番号としています。

本号では、新センター長による巻頭論文に加えて、一般論文 7 編を収めることができました。そこでは、IR、教員評価、授業開発・授業改善、キャリア教育、地域貢献など今日の急速な大学改革に対応した重要事項が扱われており、長崎大学の教育イノベーションを担う部署として相応しい内容になっていると自負しています。もちろん、必ずしも十分な論考に至っていないものについては、率直なご批判を賜ることができれば幸甚に存じます。本紀要がこれまで以上に学内外の教育改善に資するものとなりますよう、ご鞭撻をお願い申し上げます。

2014 年 3 月

編集委員を代表して 山地 弘起